

令和5年度（第1回）京都府国民健康保険運営協議会の議事概要

令和5年7月19日（水）
午後2時00分～4時00分

京都府庁 福利厚生センター 第4、5会議室

出席委員（被保険者代表）
尾松委員、尾崎委員、鎌田委員
（保険医・保険薬剤師代表）
内田委員、近田委員
（公益代表）
井上委員（会長）、桂委員、武田委員
（被用者保険等保険者代表）
中島委員、守殿委員

1 開会

2 あいさつ

十倉健康福祉部副部長から開会の挨拶

- 配付資料の確認
- 定足数の確認
- 会議録署名委員の指名

会長が会議録署名委員2名に保険薬剤師代表の近田委員及び公益代表の桂委員を指名

3 次期京都府国民健康保険運営方針の策定について

事務局から資料1～3により説明

<質疑応答>

委員 法定外繰入のうち決算補填等目的以外の法定外繰入は具体的にどのようなものであり、今回の運営方針の策定の中でどのように取り扱われるか。

事務局 各市町村で保健事業推進のために繰入を行っていることが決算補填等目的以外の法定外繰入の大きな要因であり、17市町村が繰入を行っている状況。法定外繰入は本来解消すべき案件であるため、次期運営方針においては法定外繰入の解消に向けた検討を図るための記載が求められている。現行の運営方針でも記載は必要とされていたが、さらに踏み込んだ形での記載が求められている。

委員	都道府県単位化後は法定外繰入削減の責任主体はどこにあるか。
事務局	基本的には各市町村単位で法定外繰入を解消していくことが原則であり、その達成があれば京都府全体の国保会計としても安定的な運営になると考える。
会長	法定外繰入を行う市町村があまり減少してないのに対し、金額が減少しているのは、保険料の引き上げペースが上がっているという認識でよいか。
事務局	ご認識のとおり保健事業の実施内容に見合った保険料の設定になってきていると考える。ただ、保健事業の実施自体が落ち込んだ時期もあるため、今年度改めて確認をしながら進めて参りたい。
会長	将来的には保険料水準の統一を目指して課題の整理を行っていくと説明があったが、現段階で出ている課題があれば伺いたい。
事務局	<p>昨年度まで保険料水準の統一に向けての進め方について各保険者から広く意見を伺い、アンケート等を実施している状況。この中で保険者から意見が出ている。</p> <p>まず、医療費水準が低い保険者が高い保険者の負担を担うように見えてしまうことが問題点としてある。保険料水準の統一によるメリットはありながらも、保険料が今よりも高くなる保険者からは負担増に対する懸念の声がある。</p> <p>また、保健事業や収納率対策等の各保険者の取組については、今は保険者の保険料に反映されているが、保険料水準の統一を行うと府内共通になるため、保険者の取組をどう反映させるかという問題点がある。</p> <p>最後に、各市町村が独自に決めている事務についても都道府県として統一していかなければならないという問題点があり、事務の統一化や効率化をどう進めていくかを考える必要がある。</p>
会長	アンケート結果を全保険者ベースで見たときにどのような状況かについて、まとめられた資料で説明があるとありがたい。
事務局	今回は国の策定要領に基づいて説明を行った。次回の協議会等において改めて説明を行いたい。
事務局	検討いただくのに十分な資料をそろえて次回お示ししていきたい。現行の国民健康保険については、保険者内の住民同士で支え合う形で保険料を負担していただいている状況である。都道府県内で保険料水準の統一するとなると、各保険者同士で支え合うという形に変わっていく。この点を国保の被保険者や各市町村長にどれだけ理解していただけるかがポイントになってくる。ハードルは高いが、理解を求めていきたいと考えている。

委員 今後、保険料水準の統一を考えるのであれば医療体制の整備状況もとても重要な問題点であるが、どのように考えているか。

事務局 京都府保健医療計画でも今後議論されていくことになると考えており、それをどう見ていくかは非常に大きな課題だと考えている。すでに保険者からも課題の一つだと意見をもらっており、今後も検討を進めて参りたい。

委員 今後、国保への加入者数が減少していく中で、小規模保険者は財政破綻するリスクが大きくなっていく。それを解決する手段の一つが保険料水準の統一や国保広域化であるという方向性をしっかり示すべき。現状の得か損かだけを見ていると議論が進みにくいため、何のために保険料水準の統一や国保広域化をするのかについて運営方針の中で明確に示していただきたい。

また今後加入者の構成も変わり、国保内での所得格差が非常に大きくなっていく中で、所得弱者へどうサービスを提供していくかが懸念される場所である。その解決策の一つの糸口として保険料水準の統一があることや、組織としてリスクが回避できるというような大きな方向性を示していただけるとありがたい。

事務局 いただいたご意見も踏まえながら検討させていただきたい。